

2010年度 文学研究科 教学改善アンケート〔後期課程用〕 回答総数20名

1. 本研究科への入学(進学)の動機について

1-1-1. 進学先大学院として本研究科を選択した理由は、何でしたか？あるいは、選択に際して迷いがあったとしたら、どんな点でしたか？さしつかえのない範囲で教えてください。

【文学研究科を選択した理由】

研究テーマが古墳であることから選択しました。(日本史)

研究環境と指導教員の充実が見込まれるから。

自分の研究している課題をもう少し勉強したかった。

本研究科に自分の専門分野の教授がいたため。(東洋史学D4)

このままの環境で研究を続けたかったから。

近世演劇に詳しい先生がおられるから(日本文学D3)

指導教員の研究実績(教育人間D4)

立命館大学の雰囲気がよかったから

考古学的に陶磁器を学ぶことができるため(日本史D3)

学部以来研究を志してきた本学で、研鑽を積みたいと考えていたから就職については迷いが多かった。

【文学研究科への進学を迷った点】

どう考えても学力のなさが心配。

2. 各専修(専攻)の教学について

2-1. 研究指導体制について

2-1-1. 特別研究を中心とした専修(専攻)としての指導体制について満足していますか？

たいへん満足している	3
ある程度満足している	11
どちらとも言えない	4
やや不満がある	2
おおいに不満がある	0
無回答	0

2-1-2. 主たる指導教員による研究指導について満足していますか？

たいへん満足している	9
ある程度満足している	8
どちらとも言えない	2
やや不満がある	1
おおいに不満がある	0
無回答	0

2010年度 文学研究科 教学改善アンケート〔後期課程用〕 回答総数20名

2-1-3. 上記の2つの小問に関連して考えることがあれば、自由に記してください。

個性に応じた研究指導を行う体制が整っていると考える。

閉鎖的、保守的な指導になってしまっているのではないかと懸念している。より外交的、積極的な研究活動ができるよう励ましを頂き

教育人間学専修における多数の教員による特別研究指導の体制に非常に満足しています。(教育人間学D4)

基本的に院生にべったりくっついて指導するという体制ではないので、時折不安に思うこともあるが、

一方で自分の考えや主張(学術的主張)を気兼ねなく論文等で書くことが出来るため楽に思うことのほうがやや多い。

指導教員によるハラスメントを避けるため、2~3名の教員から指導を受ける体制を検討されてみてはどうか。

2-2. 各専修(専攻)が提供する講義・演習科目について

2-2-1. 講義科目について満足していますか？

たいへん満足している	4
ある程度満足している	8
どちらとも言えない	8
やや不満がある	0
おおいに不満がある	0
無回答	0

2-2-2. 演習科目について満足していますか？

たいへん満足している	3
ある程度満足している	10
どちらとも言えない	7
やや不満がある	0
おおいに不満がある	0
無回答	0

2-2-3. 上記の2つの小問に関連して考えることがあれば、自由に記してください。

質問が大雑把すぎる気がする。先生ごとに内容が違うので一概に言えない。

専修の講義が年々減少しているのが気がかり(東洋史)

少人数だからという理由で、時折、先生にとっても我々にとっても楽な授業に落ち込んでしまっている時があるのではないかと思う。学部開講科目と全く決別した質の高い授業を期待したい。

近世文学に関する授業が少ないです

外書講読のみでは、論文を書く能力が身につかないのではないか

2010年度 文学研究科 教学改善アンケート〔後期課程用〕 回答総数20名

3. 専修(専攻)の枠を超えた科目群について

3-1. 「人文科学の主要問題」、「日本文化研究」、「日・韓・中連携講座」について

3-1-1. 「人文科学の主要問題」の科目を受講したことがありますか？

ある	11
ない	6
特に意識したことがないのでわからない	2
無回答	1

3-1-2. 「日本文化研究」を受講したことがありますか？

ある	10
ない	8
特に意識したことがないのでわからない	0
無回答	2

3-1-3. 「日・韓・中連携講座」を受講したことがありますか？

ある	1
ない	16
特に意識したことがないのでわからない	1
無回答	2

3-1-4. 上記の科目群について考えることがあれば、自由に記してください。

今後も学際的拡充を希望します。

非常に良いと思う。専門外へ目を開くことが出来た。

Dになるとあまり受講する意識もなくなるが時間に余裕があれば今でも多くの科目を受講したい。

3-2. 「ツール系科目」について

3-2-1. 「ツール系科目」を受講したことがありますか？

ある	7
ない	12
特に意識したことがないのでわからない	1
無回答	0

3-2-2. 「ツール系科目」について考えることがあれば、自由に記してください。

学芸員系の科目がやや充実しつつあると聞いているので、機会があれば受講したい。

より実践的な科目を開講して頂きたいです。

2010年度 文学研究科 教学改善アンケート〔後期課程用〕 回答総数20名

4. 教学(教育・研究)を支え、展開させるための、さまざまな仕組み・環境・体制について

4-1. 大学院教学の仕組みの説明について

4-1-1. 修了までの学修プロセスは各専修(専攻)でわかりやすく説明されていますか？

されている	5
多少されているが十分とはいえない	12
されていない	3
無回答	0

4-1-2. 履修要項をはじめとする文書類はわかりやすく記載されていると思いますか？

されている	5
多少されているが十分とはいえない	12
されていない	3
無回答	0

4-1-3. 上記論点を含めて、教学の仕組みの説明について考えることがあれば、自由に記してください。

研究設備、機関として院生の研究支援を念頭においてほしい

入学年次によって制度が異なっているがその説明が十分でない。

専攻ごとというよりも各教員で対応しているように思う。文書類に関して言えば、博論提出の制度変更について若干わかりづらかった
博士後期課程の履修登録の要件等が少し分かり難いです。

4-2. 研究環境(主に施設・設備面)について

4-2-1. 研究環境(主に施設・設備面)について満足していますか？

たいへん満足している	1
ある程度満足している	9
どちらとも言えない	3
やや不満がある	6
おおいに不満がある	1
無回答	1

4-2-2. 研究環境に関連して考えること(特に共同研究室についてなど)があれば、自由に記してください。

共同研究室は部屋によっては私語や騒音に悩まされると聞く。

研究室利用のマナー

大学院(学而館)の机、本棚の不足は年々深刻さを帯びてきている。何とかしてほしい。また、茨木購入に伴い、院もどこかに移転するのはとの声を聞かれ不安である。

自習室の深夜の開放を希望いたします。

本棚がもっとほしい。A3まで印刷できるプリンターが必要。

可能ならば24時間、土日祝も使えるようにして頂きたいです。

大部屋の共同研究室では研究がしにくい。図書館も大学院生用の静かなスペースがなく研究がしにくい。

2010年度 文学研究科 教学改善アンケート〔後期課程用〕 回答総数20名

4-3. 奨学金制度について

4-3-1. 本研究科の在籍と関連して奨学金を申請したことがありますか？

ある	18
ない	0
記憶がはっきりしないので答えられない	1
無回答	1

4-3-2. 本研究科の在籍期間中に奨学金を受給したことがありますか？

ある	16
ない	2
記憶がはっきりしないので答えられない	0
無回答	2

4-3-3. 奨学金制度について満足していますか？

たいへん満足している	4
ある程度満足している	6
どちらともいえない(or答えようがない)	6
やや不満がある	1
おおいに不満がある	2
無回答	1

4-3-4. 奨学金制度について考えることがあれば、自由に記してください。

もっと充実していて良いと思う。そして、後期課程の学生向けの学会参加補助費給付を再度見直してほしい。これが廃止されたために、多くの学生が学外、さらに国外で学習することに消極的になってしまっているのではないかと。自分だけのことを考えればある程度ではなく大変満足している。ただ、なかなか奨学金がないと厳しい院生も多いので(特にマスター)もう少し拡充するか学費を下げた方が良いと思う

4-4. 留学について

4-4-1. これまでに留学したことはありますか？

ある	5
希望は抱いたことがあるが実現しなかった	7
ないし、希望も抱いたことはない	7
無回答	1

4-4-2. 今後、留学する予定(あるいは希望)はありますか？

ある	5
希望は抱いているがあるが実現性は低い	3
ない	11
無回答	1

4-4-3. DMDP(前期課程在籍中に1年間留学し、最短2年で留学先大学と本学の2学位を取得する制度)を知っていますか？

知っている	9
知らない	10
無回答	1

2010年度 文学研究科 教学改善アンケート〔後期課程用〕 回答総数20名

4-4-4. 留学にかんする本学の支援について考えることがあれば、自由に記してください。

語学力教育の充実

余裕があれば短期にとは考えていたがなかなか余裕が出来なかった。

DMDPを利用しても自分の専門分野が深まらなければ意味がないと考えたので・・・

奨学金は充実しているが、留学先で指導を受けた教員とのその後の指導関係を維持する体制がない。

具体的には博論の審査体制に加われない点。

5. 前期課程の3コース制について

5-1-1. 自身のコース選択について満足していましたか？

満足している	4
どちらともいえない	8
不満だった	1
無回答	7

5-1-2. 自身のコース選択にあたって考慮したのはどのような点でしたか？ さしつかえのない範囲で教えてください。

就職

研究者志望であったので研究者コースを選択した。(東洋史D4)

何が違うのか、研究者になるためにはどこを選択すれば良いか考慮した

自分の興味があることが本当に今選択しているコースなのかを疑問に思うことがある。

専門性(日本史D3)

5-1-3. 3コース制について考える(あるいは考えていた)ことがあれば、自由に記してください。

自分の場合は、結局あやふやに終わってしまった。(コース変更などが理由)しかし、この分類自体は時代に適していると思う。

分化の意味がわからない。ツール系科目と専門の講義が重なることが多い。コースによって修論を書かなくてもよい場合が生じ、同じ前期課程で大きな差がある。(東洋史)

私たちのときはコース制の意味がほとんどなかったので大変不満だった。

今はある程度改善はされていると思うが、選択肢は狭めずしかしニーズも合わせたコース設定(カリキュラム設定)を進める必要がある

6. 課程修了後の進路について

6-1-1. 後期課程修了後の進路について、どのように考えていますか？

研究職への就職を希望	14
研究職以外の就職を希望	0
迷っている	5
前職または現職に復帰	0
無回答	1

6-1-2. 課程博士論文の執筆・提出に向けて何か困難があるようであれば、さしつかえのない範囲で教えてください。

特にありません

図書館設備の充実を願います

なかなか余裕がない

仕事をしながら執筆しているため、時間に制約がある

2010年度 文学研究科 教学改善アンケート〔後期課程用〕 回答総数20名

6-1-3. 大学院修了後に向けた本学の支援について考えることがあれば、自由に記してください。

関西学院大学のように、修了後に非常勤講師として起用する試用制度などがあればよいと思う。

大学院をでたあと研究を続けようとしたときに、例えば図書館から本を借りられる冊数とか教室の利用とかそういう点で充分だと思えない。

PDや講師になる以外にも研究を続けられる環境を整えてほしい

一つに大学のPDや非常勤・常勤教員としての採用又もう一つに民間のシンクタンクなど研究職の斡旋は必要だと思う。

ポストクの受け皿を充実させてください。

7. その他

7-1-1. 上記の設問に収まらない視点で考えることがあれば、自由に記してください。

先生方、事務の方々、我々のためによく尽力してくださっていると思う。いつも本当にありがとうございます。

学而館閉める時間が早すぎるため、研究するのが困るんです。(日本史)

以上

ご協力ありがとうございました。